

北区まちづくり方針

本市の最上位計画の総合計画において、区における自主自立のまちづくりの大きな方向性を示しております。

北区まちづくり方針は、北区の将来像を示し、区民と協働でまちづくりを進めていく上での基本方針を示します。

地域カルテ

様々な統計情報を校区ごとにまとめ、地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、地域の強みや弱みを「見える化」し、今後の地域活動等の活性化につなげることが可能となります。

北区まちづくりマネジメント

北区の未来に向けた持続可能なまちづくりを進めるため、ビジョン（まちづくり方針）と現状（地域カルテ）を連動・見える化することで、ビジョンを共有しながら地域の現状や未来を見つめ地域活動につなげる、総合的なマネジメントによるまちづくりを推進します。

北区のまちづくりを進める上では、目指すべき姿となるビジョンを共有し、地域の特色や実情、変化の傾向を把握することが重要になります。

このため、北区の未来に向けたまちづくりの方針を定めるとともに、地域活動を考える基礎資料として、まちづくりに関する様々な情報をまとめた地域カルテを作成します。

その上で、「まちづくりの方針」と「地域カルテ」の各項目を連動させることで、地域の皆様にまちづくりの方針を共有しながら、地域の現状や未来を見つめ、課題の解決に向けた地域活動につなげる、総合的なマネジメントによるまちづくりを推進します。（北区版のまちづくりマネジメントの確立）

北区まちづくり方針

この方針の期間は、上位計画との整合性を考慮し、総合計画に合わせることにする。
（令和6年度（2024年度）～令和13年度（2031年度））
※必要に応じて、中間年にあたる令和9年度（2027年度）に見直しを実施

地域コミュニティ

- ・誰もがまちづくりの担い手となる人づくりを進めるとともに、郷土への愛着を深め、多様な区民が交流し、豊かな地域コミュニティが息づく魅力あるまちをめざします。

子ども

- ・次代を担うすべての子どもたちが笑顔で成長し、一人ひとりが夢を持続けられるように、子どもや子育て世帯の目線に立ち、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるまちをめざします。

健康福祉

- ・すべての区民が生涯を通して、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちをめざします。

防災

- ・地域の防災力を高め、「自助」「共助」「公助」が一体となった災害に強いまちをめざします。

住環境

- ・犯罪や交通事故を未然に防ぐとともに、地域の美化促進や地下水保全、交通環境の改善を図るなど、快適で住み良い生活環境の向上と、安全で安心して暮らせるまちをめざします。

産業振興

- ・地域経済を支える企業や農畜産業、観光などあらゆる産業の振興を図り、賑わいと活力に満ちたまちをめざします。

文化振興

- ・豊かな自然や歴史的文化遺産等を活かしたまちづくりを進めるとともに、より一層魅力的なものとして育み、次の世代に継承していくまちをめざします。

各種取組（まちづくり推進経費）

地域カルテの項目

- 地域情報の共有・伝達
地域の特色や実情を校区単位で「見える化」することで、地域の情報を地域の方々で共有し、次の世代に情報をつなぎます。
 - 情報分析・将来予測
地域の現状と将来予測される課題を見通し、課題解決の方法や地域活動等を考えるための資料となります。
 - 地域活動の活性化
市や区の平均値、他校区の情報を知ること、他校区の成果を挙げている事例を参考にするなど、効果的な活動が期待できます。
- ※ 視覚的にわかりやすいよう写真も活用。

- ・校区の人口・人口構成【校区别】（自治協要望）
- ・高齢化率【校区别】
- ・転入・転出者数【校区别】
- ・外国人人口【校区别】
- ・自治会加入率【校区别】
- ・老人会加入者数【校区别】（自治協要望）
- ・地域活動に参加したことのある市民の割合（アンケート結果）【校区别】
- ・熊本市が住み続けたいまちであると感じる市民の割合（アンケート結果）【校区别】

- ・小学校児童数【校区别】
- ・年少人口【校区别】
- ・子ども達が健やかに成長していると感じる市民の割合（アンケート結果）【校区别】

- ・独居高齢者世帯割合
- ・ひとり親世帯の割合
- ・死亡率（標準化死亡比） など
（この分野の基礎資料は既存の健康カルテが基本になります。）

- ・防災士数【校区别】
- ・火災発生件数【校区别】
- ・救急出動件数【校区别】
- ・消防団員数【校区别】（自治協要望）
- ・災害への備えについて（アンケート結果）【校区别】

- ・犯罪発生認知件数【校区别】
- ・空家件数【校区别】
- ・交通事故件数【校区别】（自治協要望）
- ・公園愛護会数・公園数【校区别】
- ・道路ふれあい美化ボランティア制度の協定締結数【校区别】
- ・イノシシの生活被害に関する相談件数【校区别】（自治協要望）
- ・安全で安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合（アンケート結果）【校区别】

- ・事業所数、従業者数（個人経営を除く従業者1人以上の事業所）【校区别】
- ・基幹的農業従事者数【校区别】（自治協要望）
- ・認定農業者・新規就農者数【校区别】
- ・植木温泉宿泊者数【組合旅館のみの数値】
- ・観光客に対して熊本市内で最も紹介したい場所について（アンケート結果）【校区别】

- ・指定文化財数【校区别】
- ・田原坂西南戦争資料館入館者数
- ・文化に親しんでいる市民の割合（アンケート結果）【校区别】

※上記のような経年変化を捉えるデータではなく、地域情報として整理するもの。

- ・歴史的文化遺産・史跡
- ・主な文化行事
- ・学校、幼稚園・保育園
- ・子ども食堂
- ・子育てサークル
- ・老人クラブ
- ・避難所情報
- ・NPO（自治協要望）